



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998-'99



国際ロータリー第2760地区 ガバナー 内藤 明人

事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25 ホテルキャッスルプラザ1402号室

TEL052-581-2020 FAX052-581-1133



何かを一生懸命している姿っていいものです。それも楽しそうであればもっといい。"サァーおいしいカレーだよ!"

1998.10.20 No5 ロータリー財団月間

本誌は、環境にやさしい再生紙を使用しております。



11月にロータリーの夢を託そう

1998～'99年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 内藤 明人

11月は日本では心身共に行動をする最高の月だと思います。

本年度になり5ヶ月経過し、RC活動も活発化して参りました。私どもの第2760地区も、来る11月21日(土)22(日)と名古屋のホテルナゴヤキャッスル及び名古屋国際会議場にて“21世紀への懸橋”～本音で語ろう教育問題～をテーマに、今年最大の地区イベント98～99年度地区大会を開催致します。ジェイムスL.レイシーRI会長は、この地区大会に会長ご夫妻の代理として国際ロータリー理事小谷隆一ご夫妻を指名されました。経験深い小谷RI理事から親しくご指導戴くことになっています。

今年度のRIレイシー会長のテーマは、Follow Your Rotary Dream「ロータリーの夢を追いつけよう」としておられ、ロータリアンの哲学を高所から提唱しておられます。

また、第2760地区の我々のテーマは再三申し上げておりますように、

1. ユーイズムを広めよう
2. 新世代におおいなる光を照らそう
3. 奉仕の実感を共有しよう

を掲げています。これらを基本的課題として、地区大会が行われることを望むものです。

今月はロータリー財団月間です。財団活動は世界共通の国際ロータリーの中で最大、最強の活動であり、ここで財団活動の意義を再確認したいと思います。

- 1) ロータリー財団とは、米国イリノイ州の非営利財団法人で、人道的、教育的、文化交流的プログラムに補助金を授与することによって世界の人々の間に世界理解と平和友好関係を増進する国際ロータリーの努力を支援することです。

国際ロータリーのロータリー財団 (THE ROTARY FOUNDATION OF ROTARY INTERNATIONAL) が正式名称です。

- 2) 財団プログラムの全容

①教育プログラム

- 国際親善奨学金 それには3種類
a) 1学年度 b) マルチ・イヤー c) 文化研修のため
- 開発途上国で奉仕する大学教員のための補助金

②人道的プログラム

- 人道的な国際プロジェクトのための同額補助金
- 保健・飢餓追放及び人間性尊重
- ポリオ・プラス・ロータリーボランティア補助金
- 世界社会奉仕カール・ミラー助成金・ロータリー平和プログラム

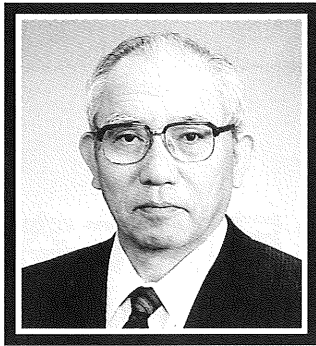
③文化交流プログラム 研究グループ交換 (GSE)

以上のプログラムを世界各国のRCが積極的に活動しているのが現状です。それへの寄付金(財源となる)は、①年次寄付②用途指定寄付③基金(ベネファクター)の三つの形で寄せられています。

尚、当地区の財団委員長には、矢島茂氏(名古屋守山RC)が永年この複雑な活動を取り計って戴いており、感謝の意をこめて報告します。

尚、国際ロータリーとしてはこの週間中に補助金受領者やRCの関係者がクラブ例会や教育機関や地域社会の会合で当財団の活動を広くPRするよう、RI本部から通達されております。

ロータリー財団月間にあたり、その意義を理解し、積極的に活動しようではありませんか。



1998～'99年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 内藤 明人

偉大な直前ガバナー犬飼栄輝氏の死を悼む

犬飼直前ガバナーの突然の訃報に接し、我が耳を疑った。未だ数日前に元気でおいしたばかりだったからです。これが人生の無常というものかと今更にして味わったものです。

犬飼直前ガバナーは、RI第2760地区におけるガバナー活動の中興の英主といっても過言ではないと思います。それは現日本の未曾有の政治経済社会の厳しい情勢下において、ロータリー活動のすばらしさを自らもって実践され、基本となるシステム改革を大会社のトップの実業人として、ロータリアンの職業奉仕の何たるかをその鑑みを示されたからであります。それは先ずニューリーダーシッププランに看ることが出来ると思います。RI本部から3年前からガバナー訪問のあり方について画期的な案が出されました。全クラブを夫々にガバナーが訪問する代わりに、ガバナー補佐（分区代理）が前もって具に訪問し、実情をお聞きし、その報告をふまえて2～3クラブを合同の会場にガバナー訪問してもよいという改革案で、より実質的なガバナー訪問の実を上げようというねらいでありました。90年以上に亘る従来のシステムを破り、日本34地区にさきがけて断行し見事成功され、日本中の地区ガバナーのみならず、アナハイムにおけるRI国際研究会においても称賛的でした。私はその恩恵に浴して現在ガバナー訪問をさせて戴いている次第です。

また、常に顔に笑みをたたえ、連日のロータリー活動に、親睦会に参加し、更に名鉄副社長、名鉄観光会長という超多忙の本業もこなし、ロータリー活動の両輪である親睦に（職業）奉仕に体当たりでぶつかられ、何人も賞賛の言葉を掲げておられました。

然し残念ながら不帰の人として旅だたれました。

どれ程誉め称えてもたりませんが、先輩の残された偉大なロータリアンとしての足跡を更に発展させるべく我々は今後頑張る所存です。長期にわたり、超繁忙に大変お疲れ様でした。どうか安らかにお休み下さい。合掌。

悲しみを越え・・・

直前地区幹事 片山 主水



全くの突然の悲報で、ただ啞然とするばかりです。

ご活躍の中で第一に挙げなければならないのは、他地区に先駆けてニューリーダーシッププランを果敢に採用されたことです。永く語り継がれることでしょう。

犬飼パストガバナーの公式訪問でのスピーチは、経済人の考え方が随所に表れ、豊富な話題と巧みな話術で、先々でお褒めに与りました。文章も名文ですが、パストガバナーの名文句作りにもいつも感心します。

「新世代は21世紀からの留学生」「等身大の広報」「心の引継ぎ」「マイナスの引継ぎ」「ワンクラブ・ワンカラー」等々。

ご仏前に次の句を捧げて、心からご冥福を祈ります。

秋風や 仏に遠き 年なるに （主水）

ある程の 菊投げ入れよ 棺のなか （漱石）

犬飼栄輝先生を

偲ぶ

地区ローターアクト

(小)委員会委員長 石川 敬



今から47年前、当時旧制京大生であった先生は、わが新制中学の講師として赴任された。その先生には極めて少ない教え子達がいる。私はその数少ない生徒の1人である。若い学生先生の初登校の日、私達悪ガキグループはいたずらで先生を迎えた思い出がある。それから1年余で先生は中学を去り、名鉄に入社された。切符切りをする先生、オンボロ鈍行電車を運転する先生、あの明るく朗らかな先生が突然他界されるとは、悲しいです。合掌

ロータリー財団月間に寄せて



地区ロータリー財団委員会委員長 矢島 茂

まずもって、ロータリー財団へ寄付された地区ロータリアン各位のご支援に対し、心から感謝申し上げます。

1997～'98年度のRIからの寄付速報によりますと（計算基礎；76RC会員6,348名）

年次寄付	577,605.21USドル	（前年度；581,308.72）
指定寄付	27,326.59USドル	（前年度；18,293.65）
恒久基金	67,750.00USドル	（前年度；53,081.49）
合計	672,681.80USドル	（前年度；652,683.86）
会員1人当たり	105.97USドル	（前年度；102.82）

となりました。

世界経済が低迷する中で、国際ロータリーは、会員増強とロータリー財団の支援を強く要請しておりますが、当地区の財団への寄付は、年次寄付が前年度を下廻ったものの指定寄付と恒久基金への寄付を加えた総額で2万ドル上廻りましたことをご報告申し上げます。

さて、ロータリー財団管理委員会は、1998年1月から地区の寄付目標額を年次寄付のみとし、地区内クラブの表彰を会員1人当たりの年次寄付額上位3クラブと致しました。ご承知のとおり年次寄付は寄付年度の3年後に使い切る財団活動資金であります。一方、ロータリー創立100周年の2005年には、ポリオを撲滅するための支援活動と次の世紀にかける夢として2億ドルの恒久基金を目標としております。従って、過渡的現象として年次寄付が減少すると、この間の経過年度の国際ロータリーの活動財源に影響することが懸念されます。

今年度当地区の寄付目標は、地区協議会にてご説明申し上げた通り、前年度と同様、年次寄付会員1人当たり110USドル、恒久基金会員50人当たり1人のベネファクターであり、免税となる30万円以上の教育的プログラムに対する大口寄付の勧奨をお願いしました。

厳しい経済情勢であります、少なくとも前年度寄付実績を下廻らないご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、このロータリアンから寄せられた浄財はどのよう

に使われているのでしょうか。

年次寄付は、3年間資産運用しその収益をロータリー財団の運営費に当て、3年後に全額をプログラム資金に充当するシェア・システムになっております。DDF（地区財団活動資金）に60%、WF（国際財団活動資金）に40%配分されます。DDFは地区の裁量で教育的、人道的、プログラム強化、寄贈の4分野に使われ、ポリオ・プラス・パートナー・プロジェクトの援助に組み合わせを行なうことなく使うことができるようになりました。また、プログラム強化とは、研究グループ交換のメンバー教育に充当できるようになりました。

WFは、人道的国際奉仕プロジェクトに対し、地区及びクラブの提唱側（援助提供側半額以上と受領側）の金額の同額を補助します。

この補助金は5万ドルが限度ですが、2万ドル以下の補助金は、いつでも申請できるようになりました。

指定寄付は、寄付者が用途を指定したもので代表的なのは、ポリオ・プラスと冠名奨学金ですが、ポリオ・プラス・パートナー・プロジェクトの場合、同額補助金を申請できるようになり効果は倍加しますので、地区またはクラブとの組み合わせにご盡力下さい。

恒久基金は、元金は手を付けず運用収益の用途を考えたもので、寄付者が収益をDDFへ指定した場合のみ地区財団活動資金となります。ロータリー夢委員会は、2005年に2億ドルが達成されたとき、運用収益5%として年1,000万ドルの用途につき各クラブへ意見を求めました。

国際ロータリーの活動を支えるロータリー財団へのご理解とご支援をお願いする次第であります。

奨学金制度と 奨学生派遣の手順



地区財団奨学金(小)委員会委員長 三浦 多久二

ロータリー財団は1917年にアーチクランフRI会長によって始まりましたが、1947年ポールハリスの死去後、遺族が2万\$を寄付してからが実質の始まりです。ポールは第二次大戦の前から留学生による国際親善を計り平和に寄与出来ないかと考えていました。1948年18名に国際親善を目的にした奨学金を授与したのが財団奨学金制度の始まりとなりました。当地区では1958年以来98年迄に246名の奨学生を送り出しています。

財団では1991年よりシェアシステムが採用され皆様の年次寄付の60%が3年先に地区に戻ってきています。当地区では今迄は殆ど全額を奨学生の派遣に使っています。その資金は年度によって異なりますが約35万\$あります。今年度は1学年の奨学金は上限2万3千\$、2学年には定額2万2千\$が支給されます。

奨学生は各クラブより推薦されます。各クラブは通常3月末迄に締切り4月末迄に地区へ申請書類を提出します。地区では5月末頃に選考試験を行い地区の推薦を財団に送ります。財団では専門職員が付いて入学先を選定します。RIは出来るだけ世界各地に均等に奨学生を送りたい訳です。申請から派遣迄の手続きは大変面倒であり必ずしも志望校に入学出来ない等の悩みもありますが、すべての奨学生が人生にまたとない貴重な体験を身につけて帰ってきて居ります。どうか本年も数多くの奨学生の推薦をして頂きます様お願い申し上げます。

1998～'99年度 研究グループ交換 (G.S.E)



地区研究グループ交換(小)委員会委員長 松前 憲典

○ブラジル4430地区との研究グループ交換の成功。

○「研究グループ交換の報告書」の作製。

○ブラジル日本文化協会へ古本寄贈の件。

犬飼年度では、2760地区と4430地区ブラジルのサンパウロ地区との研究グループ交換(G.S.E)を無事成功裡に終ることができました。G.S.Eの派遣、受入れにつきまして、ご支援、ご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

内藤年度では、「国際ロータリー第2760地区と第4430地区との研究グループ交換の報告書」を只今作製中であります。

7月より、3～4回地区事務所では会合を開き、1,000部9月中旬に発刊できるように努力を致しております。

ブラジル日本文化協会へ古本寄贈の件は、第2回目の古本輸送を船用品という名目で、20箱輸送されました。サントス港へ9月下旬か10月上旬に到着の予定であります。



東南アジアのポリオ撲滅はまじか



地区ポリオ・プラス(小)委員会委員長 酒井 孝

1985年、I Serveか、We Serveか、等々さまざまな紆余曲折をへて、2005年迄の20年間に亘る長期のプロジェクトとしてポリオ・プラスはスタートしました。古代エジプトの昔から2千数百年もの間、数知れぬ子供達の生命を奪い、健康を阻害したポリオ・ウィルスに対する国際ロータリーの聖戦であり、ロータリー創立以来の壮大な計画であります。

この計画を遂行するにあたり、予想を超えたさまざまな難事に遭遇しながらも、ロータリアンを初め、関係機関の懸命な努力を得て大きな成果を挙げ、その活動は順調に推移しています。

そして遂に今年の4月にWHOは東南アジアでのポリオ撲滅は目標の西暦2000年には予定通り達成できる見込みと発表しました。

これは、1994年南北アメリカ大陸がポリオ無発生地域と認定されて以来の快挙であります。

世界の人口の半数を超えるこの地域は、曾て、ポリオの発生件数で全世界の70%を占め、この地域からポリオが駆逐されることの意味の重さを認識しなければなりません。当2760地区も同じアジアの一員としてこの地域を優先して支援してまいりました。

しかし、この活動が如何に大変なものか、その一例を挙げると、1997年12月と1998年1月にネパール、バングラデシュ、ブータン、インド、ミャンマー、パキスタン、中国の8ヶ国で全国予防接種日(N.I.D.s)が行なわれました。

これ等の国は過去、数次、N.I.D.sが行なわれていますが、今回は深刻な経済危機にもかかわらず、最大規模のもので、世界の5才以下の子供の38%にあたる2億4,500万人以上の子供達に予防接種が行なわれました。

インドにおけるN.I.D.s

この内、インドではこのN.I.D.sの為に国民200万人とボランティア、陸海空軍等1,000万人が参加しました。ロータリー財団のダクターマン委員長を中心に、7万人のロータリアンはローター・アクターの協力を得て、国内65万ヶ所で受付、名簿の管理から予防接種、保健衛生員の食事の世話に至るまで八面六臂の活躍をしました。わけてもこの様な大量のボランティアの動員はロータリーなくしては実現が不可能なものでした。

以前50%以上のシェアがあったインドでの最後の闘いは12月の1億2,900万人、2回目の1月には1億3,300万人以上の子供達にワクチン投与が出来ました。

ロータリーのポリオ撲滅に対しての役割

この様な活動がありながら、一般のロータリアンは過去の醸金だけでポリオ・プラスは終了したと思いがちですが、現実はこちらの努力があって始めてその成果を上げることが出来るのです。

特にこの事業にロータリーが参画したことによって、国家間のイデオロギーや宗教・経済問題を含め、諸々の障害を超えて、奉仕の大義のもとに、世界各国にわたるロータリーの組織力を活用して、その活動がスムーズに行なう事が出来るようになりました。

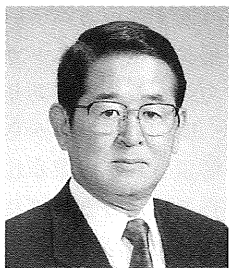
世界的に孤立したキューバはメキシコのロータリアンによって、民族紛争の多発しているアフリカでも、ロータリアンの果たす役割が大変大きなものがあります。

此度の東南アジアのN.I.D.sが一応の目途がつくことによって、他の地域を重点的に取り上げ、ポリオ撲滅に加速度がつく事を期待するものです。

ロータリアンの更なるご支援をお願いします。

ロータリー財団学友会 について

地区ロータリー財団学友会 (小)委員会
委員長 白井 通義



財団学友会は、ロータリー財団より派遣された、元国際親善奨学生、研究グループ交換(GSE)元メンバーと元リーダー、元ロータリー・ボランティア、大学教員のための補助金元受給者の皆さんで構成されています。

当地区の財団学友は、1958年に名古屋西クラブ推薦の村上（旧姓宮田）絹栄さんにはじまり、1998年までに256名の会員に達しています。

会の目的は、ロータリー精神にのっとり、会員相互の親睦とロータリークラブとその関係団体と協力・提携のもとに「国際親善使節」としての使命を自覚し、国際理解と友好に寄与することです。

主たる活動は、①学友会総会の開催②新奨学生のガイダンス、オリエンテーション及び壮行会への参加③学友会名簿の作成等があります。

学友は、財団プログラムの熱心な支援者であり、クラブの例会やその他財団活動と行事においてスピーチを行うことができます。

財団月間に当たり、各ロータリークラブにおかれては、学友名簿を参考に財団学友の皆さんを例会に招き、学友を通して財団活動をより深く理解下さるようお願いいたします。

委員長会議報告

地区会員増強 委員長会議報告

日時／1998年8月19日（水）

場所／ホテルキャッスルプラザ

地区会員増強委員会委員 高村 敦夫

平成10年8月19日にホテルキャッスルプラザで地区内の76クラブの会員増強委員長が出席して、会議が開催されました。当日は特別出席者として内藤ガバナー、福井RIゾーンコーディネーター、岩間地区幹事、加藤南尾張分区代理、村瀬副幹事の皆様も参加されて、会員増強について活発な意見発表がされましたので、その要旨を報告します。

1. 会員増強で今かかえている問題

○退会者が増加している（純増が少ない）

不況の影響、若年層の不満、安易な増強。

○会員が減少したため財政難になった。

○女性会員が増加しない。

女性で企業基盤が確立されている経営者が少ない。女性の入会に偏見を持っている。

2. 会員増強の対策について

○会員増強は全員参加で年中たえまなくやる。

グループ別に目標設定、若い人が中心に。

○女性や若い人が入会しやすい環境づくり。

時代に合わせてロータリーの規約を見直す。

○企業派遣の会員が退会したら確実に補充。

○JCの卒業生に入会勧誘の手紙を出す。

○未充填職業分類の会員を開拓する。

○退会の防止に努める。

魅力あるホームクラブづくり、新入会員の教育、質素なクラブ運営で会費を上げない。

古い会員の考え方を若い会員に押しつけない。



地区職業奉仕 委員長会議報告

日時／1998年8月25日(火)15:30~17:40

場所／ホテルキャスルプラザ「孔雀の間」

76クラブ中69クラブ出席



地区職業奉仕委員会委員長 杉原 彦三郎

8月25日(火)職業奉仕委員長会議が開催されまして、名古屋港ロータリークラブ直前会長関口宗男氏を講師に迎え、内藤ガバナー・松本パストガバナー・飯田分区代理・岩間地区幹事・小林副幹事・地区職業奉仕委員参加のもと、各クラブより職業奉仕委員長が出席いたしました。

当日の主な議題

1. 内藤明人ガバナー挨拶
2. 松本宏パストガバナー挨拶
3. 名古屋港ロータリークラブ直前会長関口宗男氏講演
「クラブ活動とロータリーの職業奉仕について」
4. 各RCの職業奉仕活動の発表
5. 職業奉仕委員会の地区活動状況について
6. 講評

まず内藤ガバナーより職業奉仕活動の重要性について、引続き松本パストガバナーより職業倫理の高揚について力強いご挨拶がありました。

関口宗男講師からは職業奉仕の理念について解り易く解説され、職業奉仕は心をみがくこと、ロータリーは人作りにあると結ばれました。

各RCの職業奉仕委員長7名の方からそれぞれのクラブでの職業奉仕活動について迫力ある発表があり、地区職業奉仕委員長から情報共有化のため、各クラブの職業奉仕委員会の活動についてのアンケート調査を実施しその結果の発表が行われました。最後に松本パストガバナーより「アクション・アンド・ビジョン」、ビジョンばかり討論しても良くない。まずアクションを起こして欲しいとの講評がありました。



地区青少年活動 委員長会議報告

日時／1998年8月26日(水)

場所／ホテルキャスルプラザ



地区青少年活動委員会委員長 坂本 康信

去る8月26日(水)ホテルキャスルプラザに於て第1回地区青少年活動委員長会議を開催。内藤ガバナー、池田分区代理、岩間地区幹事、田中地区副幹事、地区役員(青少年、IA、RA、RYLA)、8分区青少年活動委員長等135名の出席のもと盛大かつ成果を持って終了致すことができました。

鶴田青少年活動副委員長の司会により進め、まず坂本青少年活動委員長による点鐘、黙想、続いて石田青少年活動副委員長により参加者の紹介後、福田浩三青少年活動カウンセラーより「今年は、次の世代を担う青少年の夢を育むように努力して行きたい」と挨拶。

内藤ガバナーより「理想をもって次代を担う新世代に光をかけ、育成することが重要であり、青少年の物づ

くりの体験を開催致すことになり皆様の協力を得たい」とのメッセージと新企画の提案がなされた。

又(1)碧南RCの「トイレ清掃運動」竹中義雄委員長、(2)名古屋西RCの「21世紀創造会議」片桐清志委員長、(3)名古屋空港RCの「心身障害者の体験飛行」武田鋭昭委員長等の情報・シェア。更に坂本委員長より「青少年に関わる指導者の姿勢は、約束を守ること、迅速に対応することが必要」と述べ、又荻本IA委員長、石川RA委員長、林RYLA委員長より活動の報告、福田カウンセラーの講評をもって会議を終了しました。

第2部は、会場を変えて懇親会を開催、池田憲司分区代理の挨拶・乾杯の発声により楽しく委員長の交流、岩間俊夫地区幹事による心暖まる閉会の挨拶をもって終了する。



◀福田青少年活動カウンセラーご挨拶

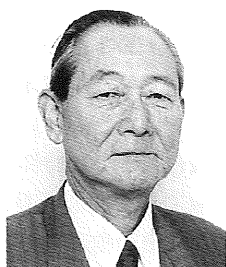
青少年活動委員長会議の風景▶



地区広報 委員長会議報告

日時／1998年9月2日（水）

場所／国際サロン



地区広報委員会委員長 長尾 喜久男

本年度の地区内各クラブ広報委員長会議は9月2日午後3時から名古屋駅前の毎日ビル9階、レインボーホールで開催され、岩間俊夫地区幹事、鵜飼治昭地区副幹事、長尾喜久男地区広報委員長ら地区役員と地区内76クラブの広報委員長が出席して今年度の地区広報活動のあり方などについて熱心に討議した。

会議は福井恒雄地区広報副委員長の司会で進められ、まず初めに、急用で欠席した内藤明人がガバナーに代わって岩間地区幹事が「内藤ガバナーは常に『広く一般にロータリー活動を理解してもらうためには積極的なPR活動が大切である』と強調しており、この成果を高めるため皆さん方の努力に期待したい」と挨拶したのについて長尾地区広報委員長が新聞、テレビなど地元マスコミへのアプローチの方法など具体的な広報活動のあり方について説明した。

次いで鵜飼地区副幹事がガバナー月信について「内

藤ガバナーからのメッセージを会員の皆さんに伝えることが主な使命だが、各クラブからの情報、記事も入れて、お互いが利用し交流を深めることにも役立つものにしたい」と述べその活用を呼びかけた。続いて「ロータリークラブ・コーナー」を設けて地区行事や各クラブの活動状況を掲載、報道している中部経済新聞社の伊藤博編集委員から同欄の活用方法についての説明を聞いた。

この後、意見交換を行ったが、皆さん熱心で「外へのPRも必要だが、内部、特に家族への理解を深めることも大切だ」「インターネットにホームページを開設するのはどうか」などの意見が続出し、盛会裏に午後4時半閉会した。



委員会報告

地区世界社会奉仕 (小)委員会(報告)

日時／1998年8月24日（月）

場所／地区事務所



地区世界社会奉仕(小)委員会委員長 岡田 邦弘

当地区の世界社会奉仕(WCS)活動は、永年歴代委員長を始め委員会の方々が献身的に取り組んで来られ高い評価を受けています。

昨年度までは、フィリピン第3800地区・第3810地区

及びタイ第3360地区に対し、各プロジェクトの支援と愛知奨学基金援助を行って来ました。

今年度は、内藤ガバナーの方針も有りまして、従来行ってきた活動を一度見直して改革する事により、最善の奉仕活動にしたいと考えています。

又、RI理事よりガバナーへ「ロータリー財団同額補助金」を使った、ブラジル・インド・スリランカへの「シェルター建設」の援助要請も来ています。

今後歴代委員長及び委員の方々の意見を聞きまして委員会で検討し、今年度委員会活動を推進して参りますので、各RC国際奉仕委員長にご理解ご協力をお願い致します。

地区RCC (小)委員会(報告)



日時／1998年9月16日(水)

場所／名鉄グランドホテル

地区RCC(小)委員会委員長 川井 健司

去る9月16日(水)午後4時より、名鉄グランドホテル12Fの四季で、本年度3回目の委員会を開きました。出席者は岩間地区幹事、村野分区代理、花井地区社会奉仕委員長、市田カウンセラー、河村副委員長、前田、平松、遠藤の委員各位と小生等9名。

議事は主として来年2月11日開催予定の地区RCCの合同集会の件でしたが、集会の名称を前回の合意で地区RCC

研究会としていましたが、今回の打合せで地区RCC全体会議と改めることとしました。出席者は既報の通り110名余です。第1部の本会議は、研究会及び隊員激励会。第2部で立食形式の懇親会を行う。全所要時間は午後2～6時半までの予定。特に第1部では質疑応答の時間と隊員の現況報告に十分な時間を割くこととして、参加ロータリアンにRCCへの関心を持って頂くことも目的の1つにしています。その他活発な意見交換があり、このあと懇親会に移り午後8時過ぎに終わりました。

(付)RIの通達書類では従来RCC(ロータリー地域共同隊)と称していましたが、本年度に入りRCSC(ロータリー社会奉仕共同隊)と改名されています。当地区ガバナー事務所では既に年初からRCCで通していますので本年度はこのままで統一することになっています。RIからの連絡がおそかったことによります。

第1回地区インターアクト (小)委員会(報告)

日時／1998年9月21日(月)14:10～16:00

場所／名古屋YMCA上前津本館会議室(407号室)

地区インターアクト(小)委員会副委員長 岩瀬 康彦

出席委員 委員長 荻本 鐵夫(一宮北)

(9名) 副委員長 岩瀬 康彦(名古屋)

委員 村瀬 竜雄(東知多) 田口 哲郎(名古屋名駅)

森久 一兵(瀬戸北) 多田 博剛(一宮中央)

清水 淳史(豊川) 角谷 宏(高浜)

堀川 泰(豊田三好)

1. 第9回インターアクトクラブ地区協議会の報告

荻本委員長、多田委員より、7月19日(日)一宮スポーツ文化センターで開催された第9回インターアクトクラブ地区協議会(ホストクラブ一宮女子高校インターアクトクラブ;スポンサークラブ一宮北、一宮、尾西、一宮中央各RC)の準備経過及び当日の状況について報告があり、参加した各委員から感想が述べられた。

- ・インターアクトクラブの年度最大のイベントとして今後も大切にしていく。
- ・準備から実施まで高校生が主体的にかかわっている点は素晴らしい。
- ・欲をいえば、学校側のより深い理解が欲しい。
- ・スポンサーロータリーの負担が過大にならないよう今後も注意しながら見守っていく必要がある。

・海外研修派遣と日程的に接近しすぎていることは今後の継続検討事項としていく。

2. 第11回インターアクトクラブ海外研修派遣の報告

7月24日(金)より8月2日(日)まで、オーストラリア・シドニーにおいて実施された第11回インターアクトクラブ海外研修派遣にアドバイザーとして同行した荻本委員長、多田委員より、ビデオ(30分)をまじえて報告があったのち大要以下のような協議を行った。

- ・派遣地がオーストラリアであることは、北半球の国々が夏休みでないことを考えると適している。
- ・シドニー市については必ずしもこだわる必要がない。郊外のもう少し小さな町でもよい。
- ・ホームステイ先で2～3の問題はあったがシステムとしては問題ない。
- ・出発前の宿泊研修(2回)や現地引率、事後の処理を考えると、担当したロータリアンには大変な負担になるが、できる限り委員などで分担して今後も継続していきたい。
- ・次年度の派遣先などについては、今回引率した荻本委員長、多田委員に一任する。

3. 第2回インターアクトクラブ次期役員研修会の企画検討

荻本委員長より、11月7日(日)開催予定の第2回インターアクトクラブ次期役員研修会(案)について説明があり、原案となっている内藤ガバナーの講話が三重、岐阜地区のロータリー大会日程との関係で不可能となったので内容を再検討することとした。詳細は荻本委員長に一任することとする。

第1回地区委員会委員長会議

日時／1998年8月27日（木）15：00～17：00

場所／ホテルキャッスルプラザ

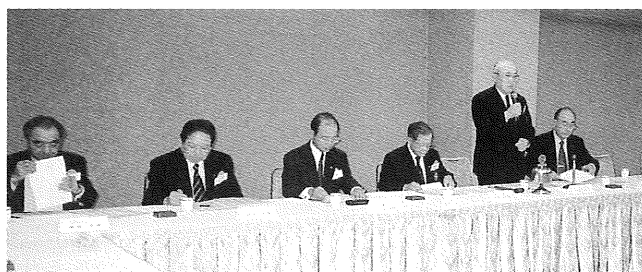
地区副幹事 田中 義一

内藤ガバナーはじめ神戸地区研修リーダー、岩間地区幹事、6名の分区代理、24名の地区委員会委員長とガバナースタッフの出席で、第1回地区委員会委員長会議が行われた。

初めに、内藤ガバナーより今年度の活動は7月からスタートし、各委員会では具体的な活動に入っているところもある。良いプランとなり、今後のロータリー活動が実のあるものとなるよう、よろしく願いたい。と挨拶、続いて神戸地区研修リーダーが、内藤ガバナーの方針に沿って一年間うまくいくように委員会としても頑張っていたきたい。と述べられた。その後、各委員会委員長より、現在

までの活動状況並びに今後の活動計画を順次報告された。これらの報告について、内藤ガバナーは、クラブ拡大、会員増強をすることはロータリー活動の活性化につながるものであり、大いに努力していただきたい。又、積極的な広報活動に努め、ロータリーに対する一般の理解を深めるように努めていきたい。ロータリアンの活動は、すべての委員会活動を統合したものである。と結ばれた。

会議終了後、出席メンバーは「地区事務所」を視察し、今後の利用の仕方とか仕組みを見て散会となった。



第2回地区諮問委員会議事録

日時／1998年9月12日（土）11：00～13：00

場所／地区事務所

〈協議事項〉

1. 2000～'01年度国際ロータリー第2760地区ガバナー候補推薦の件
※推薦依頼中
2. 1999～2000年度（野村年度）分区代理候補者推薦の件
※地区大会迄に決定したい（3分区内定）
3. 1998～'99年度地区大会決議案採択の件
※原案のとおり承認
4. 1998～'99年度ライラセミナーホストクラブ委嘱の件
※名古屋千種RCに委嘱
5. 第2600地区（長野）地区大会（11／7～11／8）出席の件
※犬飼PDGが出席

〈報告事項〉

以下の議題全部につき配布報告資料のとおり報告された

1. 1997～'98年度地区会計決算（案）の件
2. リーダーシッププランに関する答申書の件
3. 地区大会RI会長代理について
RI理事 小谷 隆一氏（京都RC）
4. 1998～'99年度地区大会RI会長代理エイド委嘱の件
RI会長代理エイド 田中 徹PDG（半田）
5. 地区大会プログラム（案）

第1回地区大会企画委員会

日時：平成10年7月9日（木）

会場：ホテルキャッスルプラザ

議題：進行状況報告等

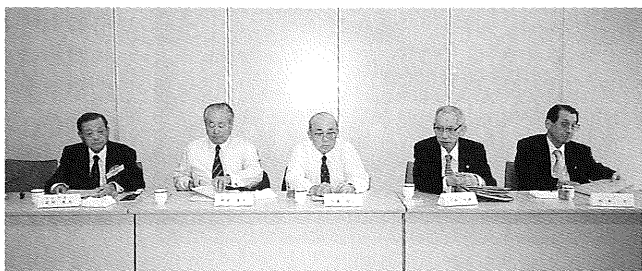
第2回地区大会企画委員会

日時：平成10年9月5日（土）

会場：地区事務所

議題：記念事業の内容等について

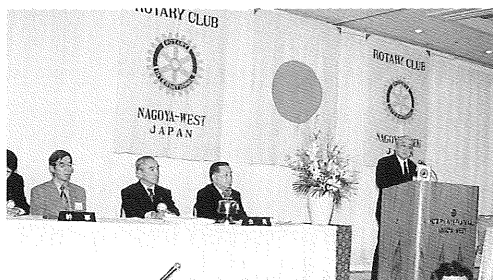
6. 財団法人ロータリー米山記念奨学会理事会及び評議員報告の件
7. インターアクトクラブ海外研修派遣及び地区協議会の件
8. ガバナーノミニー事務所開設の件
9. ロータリー研究会ガバナー同期会の件
10. 地区主要行事日程について
11. その他
 - ・パプアニューギニア義援金の件
 - ・地区事務所事務局員決定の件



内藤ガバナー 公式訪問始まる

新年度がスタート、各クラブは順調に事業が展開されています。いよいよガバナーとクラブが一体となって語りあえる公式訪問が始まりました。順次みなさんのクラブ公式訪問の様子をお知らせします。ご期待下さい。

名古屋西ロータリークラブ



- 平成10年9月3日（木）
- 18：00～19：00
- ホテルキャッスルプラザ
- 会長／高橋 治朗
- 幹 事／大竹 勇司
- 会員数／150名

例会前、従来の会長・幹事・四大奉仕委員長に加え、青少年活動委員長も出席しての協議会が行われ、内藤ガバナーが標榜しておられる「新世代に大いなる光を照らそう」に非常に即した内容となりました。

名古屋名駅RCとの合同で開催された例会におきましても、ガバナーはご自身の青年時代の体験などを踏まえ、「心の充足感を求めて奉仕活動に邁進し、次の世代を担う青少年に明るい未来を伝導していかなければならない」と強調されました。レイシーRI会長からの「夢を追い続けよう」のメッセージ共々、非常に感銘を受けた次第であります。

最初のカバナー公式訪問ということで、大変緊張された様子ではありましたが、ガバナー所属クラブとして、公式訪問の先鋒を無事務めることができ、安堵致しております。

名古屋名駅ロータリークラブ



- 平成10年9月3日（木）
- 18：00～19：00
- ホテルキャッスルプラザ
- 会長／岡本 敏男
- 幹 事／黒川 益次
- 会員数／113名

西RCとの年一回の合同例会へ、内藤ガバナー公式訪問の初回としてお迎えしました。例会は全員着席で拍手は控えたガバナー入場から始まりました。「温故知新、進取の気迫」活動指針を基に、岡本会長の挨拶があり本年例会の特色でもある「心を込める」黙想後、空虚な日本の時代にこそロータリーの夢を通じて社会奉仕を実現し、ユーイズムに立脚し、新世代に光をあてようと力強い言葉で内藤ガバナーがご講話されました。当クラブには、会員増強の成果について「活力に満ちた活動」と増員にお誉めをいただきました。当日は夜間例会でしたので例会後、懇談会では、なごやかに友情を深め合いました。

蒲郡ロータリークラブ



- 平成10年9月4日（金）
- 11：50～13：30
- 蒲郡プリンスホテル
- 会長／小林 一到
- 幹 事／鈴木 克明
- 会員数／73名

まずは、内藤ガバナー初め地区幹事等がご多用な中を、ご来訪いただき、適切かつご丁寧なご指導をたまわりましたことに、会員一同心底より御礼申し上げる次第です。

例年にない、4大奉仕委員長を交えての「ガバナー懇談会」も有意義また和やかな雰囲気の中に終始することができました。

特に、ガバナーが卓話の中で強調された「ユーイズムを地域社会に広げよう」「奉仕の実感を共有しよう」のご方針は、会員にも感銘深く受け取りましたようで、現在、卓話を録音させていただいたテープの貸し出しが頻繁です。

今後の活動及び運動に大きな影響を及ぼすものと確信いたします。

他地区情報

京都洛中ロータリークラブ職業奉仕委員会

インターネットホームページで 職業奉仕フォーラムを開催中

京都洛中ロータリークラブ

職業奉仕委員会委員長 砂山 憲一

京都洛中ロータリークラブ職業奉仕委員会では、会員が職業奉仕をどのように理解し、実践しているかを知ることが、職業奉仕を考えなおす機会になるのではないかとおもい、会員の職業奉仕の実践を調査しました。この調査結果をまとめ、インターネットホームページに掲載しています。是非アクセス頂いて皆様のお考えを私どものホームページ職業奉仕フォーラムにお寄せください。

京都洛中ロータリークラブ

職業奉仕委員会ホームページ

URL

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/rakuchu/>

新ポール・ハリス・フェロー 8 月分

氏 名	所属RC
小林 英雄	(名古屋栄)
大場 善男	(蒲 郡)
竹内 安夫	(安 城)
鈴木 忠雄	(〃)
阿部 光廣	(〃)

訃報



謹んでご冥福をお祈り申し上げます

大黒谷 一様 (半田RC)	9 月 8 日
加藤 喜作様 (豊田RC)	9 月 14 日
阪本 廣氏様 (豊山-城北RC)	9 月 16 日
犬飼 栄輝様 (名古屋東南RC)	9 月 22 日
伊串 浅七様 (名古屋北RC)	9 月 22 日

文庫通信 132 号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

齋木亀治郎さんの本

- ◎「ミスター ホテイ ーデリー スモール ビジネス クリニックー」 1963 75頁
- ◎「小企業研修会」 1963 8 頁
- ◎「ロータリーのカタカナ」 1969 18頁
- ◎「信天翁 よちよち歩く」 1970 209頁
- ◎「世界社会奉仕を考える」 D. 368 1971 50頁
- ◎「ROTARY INSTITUTEに於ける世界社会奉仕に関する討論参考資料」 1973 15頁
- ◎「プロジェクト625報告書 ―ポールハリス児童診療所への奉仕―」 1974 32頁
- ◎「ひろがれ まわれ」 淡路三原R.C. 1978 25頁
- ◎「信天翁 つぶやく」 1979 272頁

[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

会員数および出席報告

第2760地区

出席報告

平成10年 8 月分

分 区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数		
				'98年 7月1日	当月	増減
南 尾 張	半田	100	3	71	73	2
	常滑	97.02	3	71	72	1
	東海	98.87	3	59	59	0
	東知多	99.47	3	71	71	0
	半田南	98.88	4	72	72	0
	知多	98.55	5	41	44	3
	6 RC	98.80		385	391	6
西 尾 張	一宮	98.90	3	90	91	1
	津島	100	3	90	91	1
	尾西	97.62	4	61	63	2
	一宮北	97.50	3	79	80	1
	稲沢	92.93	3	69	69	0
	あま	99.41	5	101	102	1
	西春日井	98.46	4	64	64	0
	尾張中央	100	3	53	53	0
	一宮中央	97.71	3	73	74	1
	9 RC	98.06		680	687	7
東 尾 張	瀬戸	100	3	86	87	1
	犬山	100	3	85	86	1
	江南	100	3	74	75	1
	小牧	97.68	4	74	74	0
	春日井	100	3	79	80	1
	尾張旭	99.48	3	64	65	1
	名古屋空港	97.34	4	68	67	-1
	瀬戸北	100	4	69	69	0
	岩倉	96.73	3	41	42	1
	豊山一城北	99.36	3	55	55	0
	10RC	99.06		695	700	5
西 名 古 屋	名古屋	97.32	3	217	227	10
	名古屋西	93.01	3	145	151	6
	名古屋南	99.17	3	131	133	2
	名古屋港	100	3	124	125	1
	名古屋東南	99.55	3	87	89	2
	名古屋中	99.32	5	163	162	-1
	名古屋瑞穂	97.20	3	100	99	-1
	名古屋大須	98.60	3	96	98	2
	名古屋栄	99.70	4	81	83	2
	名古屋名駅	97.64	3	109	113	4
	名古屋名南	99.39	4	83	83	0
	名古屋西南	100	3	60	59	-1
	12RC	98.41		1,396	1,422	26

分 区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数		
				'98年 7月1日	当月	増減
東 名 古 屋	名古屋北	99.37	3	110	116	6
	名古屋東	97.66	4	110	112	2
	名古屋守山	95.93	3	81	82	1
	名古屋和合	100	3	113	113	0
	名古屋名東	99.18	3	82	81	-1
	名古屋名北	99.52	3	74	75	1
	名古屋千種	98.96	3	70	72	2
	名古屋昭和	99.32	4	73	74	1
	名古屋錦	100	3	66	67	1
	名古屋東山	100	3	56	58	2
	10RC	98.99		835	850	15
東 三 河	豊橋	99.12	3	126	130	4
	蒲郡	95.17	3	71	72	1
	豊橋北	99.37	3	115	115	0
	豊川	94.20	3	77	81	4
	田原	100	3	71	73	2
	豊橋南	98.05	4	73	73	0
	新城	98.67	3	67	67	0
	渥美	91.97	3	63	65	2
	奥三河	93.88	5	43	43	0
	豊川宝飯	98.94	3	66	66	0
中 三 河	豊橋ゴールドデン	97.56	3	82	82	0
	田原パシフィック	95.27	4	75	75	0
	豊橋東	100	3	43	43	0
	13RC	97.09		972	985	13
	岡崎	100	3	120	120	0
	豊田	97.80	3	94	95	1
	岡崎南	99.66	3	109	110	1
	豊田西	99.74	4	101	107	6
	岡崎東	99.25	3	99	102	3
	豊田東	97.70	3	99	99	0
西 三 河	岡崎城南	100	3	76	75	-1
	豊田三好	98.44	4	35	35	0
	8 RC	99.07		733	743	10
	刈谷	100	4	92	99	7
	安城	97.06	3	94	94	0
	西尾	98.53	3	76	76	0
	碧南	99.20	3	85	85	0
	一色	98.69	3	51	51	0
	高浜	98.51	4	54	53	-1
	知立	100	3	62	61	-1
西 三 河	西尾KIRARA	99.06	3	72	72	0
	8 RC	98.88		586	591	5

地域内クラブ数 76RC

'98. 7. 1 会員数 6,282名

増 加 会 員 数 95名

当 月 末 会 員 数 6,369名

減 少 会 員 数 8名

当 月 平 均 出 席 率 98.55%

差引純増会員数 87名